



市民の声を市政に届けます

# JR 香芝駅のバリアフリー化 見え始めた来年度予算

「JR 香芝駅をよくする会」で集めた  
請願書名が行われ、3249筆が提出

No.082  
2020年  
12月号  
発行責任  
日本共産党  
前香芝市議員  
中井政友  
香芝市五位堂  
4-290-4  
ma36sa83@kcni.jp  
Tel 090-3869-9204

「電車から降りる時に段差があるので、怪我をした人がいました」「王寺から帰ってくる時は、エレベーターがない香芝駅を乗り過ごし、高田駅経由で戻ってくるという人もいます」切実な市民の声を受けて四年前に「JR香芝駅をよくする会」が立ち上がりました。そして市に対する請願書名が行われ、3249筆が提出されました。2016年12月議会で全会一致で採択されています。



署名を提出する  
「よくする会」の  
人たち 2016.11

私たちも、「よくする会」とともに活動を行いました。共産党の宮本岳志国会議員や今井光子県議員も視察に来て、国会でも取り上げられました。

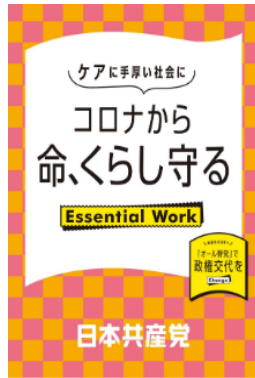


視察に来られた宮本国会議員(当時)と今井県議員  
2017.3

バリアフリー法では「JR香芝駅のように利用客が3000人以上の駅は2020年度迄にバリアフリー化をすること」が決められています。全国には97パーセントの駅で実施されています。JR香芝駅のような状態で残されている駅は、きわめて遅れた駅になっています。

全会一致からすでに4年。現在に至るまでいまだに進展がありません。このまま放っておいていいはずがありません。ようやく見え始めた  
来年度予算  
新しく就任された福岡市長は、住みよい街づくりの課題の一番に「JR香芝駅のバリアフリー化を表明されました。国交省に赴き、11月には大臣や

知事などの関係者が「JR香芝駅に視察に来られました。遅れた駅を実感されたのではないのでしょうか。4年前に頑張った署名を集めておられたHさんは、亡くなる前に、市民の皆さんのためにこんな活動ができたことを喜んでおられました。きつと希望が見えていたのかもしれない。お困りの方々に急ぐ課題です。市民の願いを受けて、引き続き頑張ります。香芝市の玄関駅が一日も早く生まれ変わる日が来るまで。



国民のために働く内閣とは誰の言葉ですか?  
国会は閉じてもいいのですか?

コロナの第3波が深刻です。奈良県でも連日のように感染者が増えています。



コロナ感染の厄介な特徴は無症状の陽性者から感染が広がるということ。感染を広げないためにも大規模なPCR検査が必要です。そして医療現場や高齢者施設などでの社会的PCR検査を実施することです。検査費用の自治体負担をなくして、全額を国の負担にすることが望まれます。コロナ対応の問題・学術会議の問題・安倍前総理の「桜を見る会」前夜祭の費用補填疑惑・吉川元農水相の贈収賄疑惑等々問題が山積みしている中で、国会は閉会しました。菅政権はどこを向いて政治をしているのでしょうか。国民のために働いてもらいたいですね。



ホームページがQRコードでつながります